

会場：役場前駐車場

# 摩周温泉

# 夏まつり2010

□ 7月17日(土) 13:00~

### ★内容

- ☆ハイカラ世代のお楽しみゲーム
- ☆ちびっこ集まれ！お楽しみゲーム
- ☆うたってみませんか？カラオケ歌謡まつり

### ★参加団体

弟子屈高校ダンスチーム／弟子屈小学校吹奏楽部／  
弟子屈中学校吹奏楽部／弟子屈高校吹奏楽部／弟子  
屈音頭／PLバトントワラー弟子屈教室／摩周蝦夷  
太鼓保存会

※内容は予定です。

□ 7月18日(日)

### ★第15回全道摩周五入れ選手権大会

- ☆時間／受け付け8時30分・開会式9時
- ☆参加条件／補欠2人を含めた計7人のチーム編成

売店は17日(土)・18日(日)2日間行います  
おいしいお店がいっぱい出ます！



# 源泉まつり

# 湯のまち川湯



□ 日時／7月17日(土)～8月24日(火) 19:30~21:30(雨天中止)

□ 場所／川湯神社境内

### □ 内容

- ☆縁日風の出店  
射的・型抜き・ヨーヨーすくい・駄菓子など
- ☆足湯スタンプラリー

主催／(社)摩周湖観光協会

摩周温泉夏まつり実行委員会(摩周フロンティア)

主管

湯のまち川湯源泉まつり実行委員会

# 訪れるお客さまを気持ちよくお迎え

## グリーンウェイブ・緑化プロジェクト・湯川の清掃も



てしかがえこまち推進協議会環境温泉部会(榎本浩士部会長と川湯小学校(早丸昌徳校長)の児童が5月21日、国連が全世界へ呼び掛けている植樹「グリーンウェイブ2010」活動の環として、川湯温泉地区でミズナラの植樹を行いました。また同部会では、5月30日には湯川の清掃、6月16日には川湯温泉市街地の植樹も実施しました。

この日は、川湯小学校の5、6年生の児童15人と、えこまち推進協議会のメンバー5人が参加し、川湯小学校で3年前から育ててきたミズナラの苗木20本を植えました。参加した児童は、この活動を通して、豊かな自然を守っていく大切さを再認識していました。

また6月16日には、同部会と地域自治会などが連携し、川湯温泉街の緑化を進めようと「川湯温泉街緑化プロジェクト」が行われ、市街地で植樹が行われました。このプロジェクトは、本年度から年次計画で市街地のエリアを設定して取り進められるもので、川湯温泉に癒やしを求めて訪れるお客さまを、緑で温かく受け入れようという目的で行われたものです。当日は、関係者など15人が、ミズナラやエゾムラサキツツジなど約40本を植樹しました。

また、例年、春と秋に行われている川湯温泉市街地を流れる湯川の清掃にも、関係者など約20人が参加。町長をはじめ、レーキ熊手のような道具などを使って熱心にごみをかき集めていました。

てしかがえこまち推進協議会エコツーリズム推進部会(池田篤英部会長)は6月4日、本年度1回目となる「野外活動スキルアップセミナー」を、川湯ふるさと館で開催しました。セミナーには、町内外から約20人の事業者などが参加し、国立公園内で活動する際のルールや法律などを学びました。

初めに、環境省川湯自然保護官事務所黒江隆太さんが「国立公園利用に関するルール」と題して、国立公園に関する法律やマナーなどについて講演しました。

## 野外活動のルールを学ぶ

### てしかがえこまち野外活動スキルアップ講習会



新緑の中でカヌーを操る子どもたち

えこまちJr.が始動  
手始めは釧路川源流でカヌー体験

てしかがえこまち推進協議会人材育成部会萩原寛暢部会長が取り組むてしかがえこまちJr.が6月6日、本年度第1回目の活動として「釧路川カヌー体験」を行い、9人の子どもたちが参加しました。えこまちJr.は、弟子屈ならではの自然や歴史、文化を学び、そして体験したことを伝えることを通して、ふるさとを自慢し、町の未来を担う人材が育つことを目指して活動しています。今回は、活動の様子を保護者の方にもご覧いただきたいと、親子参加での実施となりました。\*

参加者は公民館に集合し、アイスブレイクで打ち解けた後、早速カヌー体験会場の釧路川源流部へ移動。ガイドさんからセーフティトーク(安全説明)を受けた後、3艇のツインカヌーに分乗して屈斜路湖へ出ました。子どもたちは、初めての体験ということもあり、ぎこちない手つきでパドルを操っていました。

体験が終了した後は、川湯エコミュージアムセンターで、体験を絵日記風にまとめたものをみんなで作成しました。ここで発表された絵日記は同館で展示され、訪れる皆さんへ町の魅力を伝えるツールとして活躍しています。

木に関する詳細な解説を行いました。

続いて、林野庁北海道森林管理根拠西部森林管理署流域管理調整官の横山宏幸さん、同管理官の川淵善昭さんが「国有林の利用に関するルール」について解説しました。

またフィールドワークとして、川湯エコミュージアムセンターの藤江晋さんが「アカエゾマツの森」で地域の自然について解説しました。

最後に、てしかが自然史研究会会長の細川音治さんが「弟子屈町の森と樹木に関する講座」と題して、自身の研究成果や豊富な体験から、町内の森や樹



熱心に聴き入る受講者

\*アイスブレイク/会議やセミナーでのグループワークなどの前に、初対面の参加者同士の緊張をほぐすために行うゲームなどの総称